

## 知事との県民対話集会（高森町）概要

- ・開催日時 令和4年12月22日（木） 午後3時45分から午後5時15分まで
- ・会場 高森町福祉センター 大ホール
- ・参加者 県民60名、壬生高森町長、阿部知事、丹羽南信州地域振興局長
- ・テーマ 未来を担う地域人材教育とまちづくり

### ・主な発言（要旨）

#### 【参加者】

- ・南信州の魅力や情報を若者目線で発信し、地域での活動を行っているが、県外在住者が多く、現地で活動できる人が少ない。県外でのイベントなどの遠征費用も負担。若者の活動支援として、人材集めや金銭面等の支援を充実してほしい。
- ・全県的な若者団体を発足させ、発信していける体制があるといい。

#### 【知事】

- ・支援の仕組みやどういったネットワークづくりができるか考えたい。
- ・団体が呼びかけて「ふるさと信州寄付金」で寄付を募るといった仕組みも考えられる。

#### 【参加者】

- ・竹を使って流しそうめんのギネスに挑戦した。活動を通して、先生や役場、地域の方々の協力をいただくことができた。
- ・地域の人達の協力で、高森の四季を影絵で表現（竹でライトアップ）することができた。
- ・仲間と協力して、ひとつのことで作り上げる大変さ、素晴らしさを体験することができた。

#### 【参加者】

- ・中学生の流しそうめんのギネス挑戦に、商工会全体で協力した。作業を通して役場や会員同士のコミュニケーションが生まれた。
- ・中学生と一緒に作業をして、経験豊富な大人の姿を見てもらえるとよかった。

#### 【知事】

- ・課題も見方を変えると、地域を良くしたり、暮らしを良くしたりすることにつながられる可能性がある。ぜひ、多面的な視点を持ってほしい。

#### 【参加者】

- ・若い従業員が交流する場を作りたいが人集めが課題。アドバイスがほしい。

#### 【知事】

- ・県として考えないといけないのは結婚支援。出会いの場がないとか、結婚したくても雇用が安定しないので悩んでいるような人達を、県と市町村で応援していきたい。そういう取組と連動してもらえるとありがたい。
- ・単独の町村だけだと人間関係が固定化するので、柔軟性を持つよう他地域との交流もあった方がいい。趣味ではなく課題解決を目的としたアプローチもある。長続きするよう緩い集まりにするものよと思う。

#### 【参加者】

- ・地域企業の生産性向上に向けた『プロジェクトチャレンジ』という伴走支援を始めた。企業の活性化が地域の活力の起爆剤になり、魅力的な地域に変わっていくことを目指している。

#### 【知事】

- ・企業の生産性をどう上げていくかは、産業政策として最も重要。地域の企業が元気になる取組を応援していきたい。
- ・生産性を上げ、賃金が上がるようにするため、国等の関係機関や経済団体と共同宣言を行いたい。

**【参加者】**

- ・部活動を地域移行するには、人材確保など環境づくりのための予算化が必要。
- ・大人だけではなく子どもにも話を聞き、子ども達が充実して楽しい学校生活を送れる環境づくりをお願いしたい。

**【知事】**

- ・部活のあり方を考えないといけない。教育委員会には方針を早く示すよう言っている。
- ・全国で画一的に同じことをやるのではなく、子ども達や保護者、学校が話し合えるといい。
- ・来年度は、地域移行に関してモデル的に取り組むことを考えている。

**【参加者】**

- ・国土交通省の深層崩壊跡地調査や県の土砂災害危険区域が示されているが、どういう地質でどういう状況になったら危険になるかがよくわからない。県としても市町村からの要望に応じて地質調査等を行い、情報提供する専門部局を作ってほしい。

**【知事】**

- ・大雨が降ったときは、建設部と気象台で情報共有し、きめ細かく警報を出すようにしている。
- ・危険地域の地質などの情報提供については調べて回答する。

**【参加者】**

- ・ウクライナからの避難民の子ども達への教え方を悩まれたと聞いた。信州大学の国際教育化を国に強く推してもらいたい。

**【知事】**

- ・女性や障がい者、外国人など、多様性が尊重される県にしたい。外国籍の人々への教育のあり方は考えなければならない。

**【参加者】**

- ・子育ての素晴らしさを実感しているので広く発信したい。
- ・子どもはかわいいが、今いる2人の子育てを考えると、3人目を躊躇してしまう。

**【知事】**

- ・子育ての素晴らしさは我々も発信していきたい。
- ・子育てや教育にお金がかかるという声は多い。1、2歳児の保育料軽減について、市町村と相談しながら取り組んでいきたい。
- ・少子化対策は保育士の拡充など様々な方面から意見や提言を受けている。予算も有限であることから対話等を通じて優先順位を見極めたい。